

# めざす未来に向けた価値創造の戦略～「JR西日本グループ中期経営計画2022」～

## 地域共生の深耕と新たな価値創造への挑戦

JR西日本グループがこれまで築いてきた、新幹線を基軸とした各エリアの鉄道ネットワークの充実と地域に根差した生活サービスとの融合により、持続可能な社会の実現につながるSDGsの達成にも貢献しつつ、既存資産の活用や社会変化に対応した多様な暮らし方や働き方の提案につながる新たな価値を提供し、地域の皆様と連携しながら「訪れたい、住みたいまちづくり」にさらに磨きをかけていきます。



### 地域共生の深耕

#### せとうちパレットプロジェクト

瀬戸内エリアを国内外から多くのお客様が繰り返し訪れる一大周遊エリアとすることを目指す「せとうちパレットプロジェクト」。鉄道事業と創造事業、そして地域が一体となり、広域周遊ルートの構成と地域の自然、産業や文化を活かしたコンテンツ整備を進めてきました。

#### ● 鉄道と船を組み合わせた魅力的な観光周遊ルートの構築

瀬戸内海汽船グループおよび国土交通省中国運輸局と連携協定を締結しています。瀬戸内海汽船グループとの共同事業として、2020年9月に観光型高速クルーザー「SEA SPICA(シースピカ)」を導入しました。観光列車「etSETOra(エトセトラ)」「La Malle de Bois(ラ・マルド・ボア)」と観光クルーザーを乗り継ぎ、瀬戸内海を陸と海から堪能できる観光ルートを新たに開発し、車内や船内、立寄観光地では、地域ならではの製品を提供・販売しています。



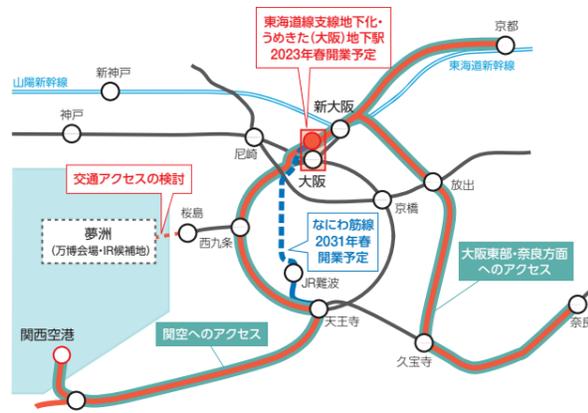
#### ● 地域の魅力を活かした新たなコンテンツ整備

株式会社下電ホテルとの共同事業として、お客様に安全・安心にお楽しみいただける「SETOUCHI GLAMPING(せとうちグランピング)」を2021年8月グランドオープンしました。施設のインテリアや提供する食事も、地域の企業と協力して開発しています。



#### 関西都市圏ブランドの確立

当社最大のターミナル大阪駅を起点とした「駅からはじまるまちづくり」を環境変化に対応しながら推進するとともに、大阪・関西万博を契機に、関西都市圏の鉄道ネットワークの利便性を向上し、関西エリアの発展に貢献します。



#### ● 大阪駅周辺の開発予定



うめきた(大阪)地下駅 2023年

新駅ビル開発 2024年 高架下開発 2027年

西地区開発 2024年

### 最適な地域交通体系の模索・実現

#### 次世代モビリティサービスの開発推進

魅力的なエリア創出の一翼を担う次世代モビリティサービスの実現を目指して、自動運転と隊列走行技術を用いたBRT(Bus Rapid Transit:「バス高速輸送システム」)の開発プロジェクトをソフトバンク株式会社と共同で開始しています。2021年10月からは、当社車両基地内(野洲市)に設置した専用テストコースにおいて、3種類の自動運転車両を用いた実証実験を行い、2023年の技術確立を目指して開発を推進していきます。



#### 「地方版MaaS」の構築

家から目的地までのストレスフリーな移動、病院・スーパーなどの生活関連サービスとの連携、地方と都市エリアとのつながりの実現など、地方版MaaSの構築に向けて取り組んでいます。

2020年度から、島根県邑南町と中山間地域における持続可能な公共交通の実現のため、デマンド交通※の実証実験を開始しました。Web予約の検証やキャッシュレス化の検討、さらには移動データの活用や、「見守り」などの生活サービスとの連携を含めた実験を行っています。

※ デマンド交通:  
バスや電車などのようにあらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービス



### 社会変容に対応した「鉄道のある暮らし」の提案

新型コロナウイルス感染症による社会変容に対応した新しいライフスタイルとして、鉄道と各種サービスを組み合わせた「鉄道のある暮らし」を提案し、「ワークプレイスネットワーク」「都市圏居住×地方連携」「ワーケーション」などの取り組みを展開しています。「ワークプレイスネットワーク」では、西日本エリアにとどまらず、お客様の動線上にさまざまなワークプレイスの利用環境を整備することで、鉄道サービスと組み合わせた「時間と場所にとらわれない働き方」を提案します。

また、「都市圏居住×地方連携」の取り組みとして、2022年春にまちびらきを予定している「Suita サスティナブル・スマートタウン」の居住者を対象に、新潟県妙高市、福井県若狭町、滋賀県高島市、ならびにSuitaサスティナブル・スマートタウン協議会(代表幹事:パナソニック株式会社)とともに、まちびらき初期の交流を促進するための第二のふるさと(ふるさと地域交流)を提案します。同タウンの目指す「多世代居住・健康・地域共生」のまちづくりに寄与するとともに、「鉄道のある暮らし」の一環として、西日本全体の活性化を図ります。

#### ① ワークプレイスネットワーク

鉄道サービスと組み合わせた「時間と場所にとらわれない働き方」を提案  
・センターオフィス ・シェア型、ブース型 ・新幹線車内

#### ② 都市圏居住×地方連携

地方の良さを享受できる、第二のふるさとを提案

#### ③ ワーケーション ④ 多拠点生活・居住

「旅も仕事もお気に入りの場所で」複数の拠点をもち暮らしを提案  
・住まいサブスク ・ワーケーションサブスク

#### ⑤ 地方移住

都市圏の仕事を持ちながらの地方暮らしを提案  
・おためし地方暮らし

